

平成22年9月20日発行

第174号

発行/高円寺地域区民センター協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
事務局 ☎3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

セシオン

高円寺地域区民センター報

ふれあい

http://www.sesion.jp/

こどもフェア 2010

9月25日(土) 10:00~15:00

ホール/映画上映 (先着順に入場)

- ★「グレートネイチャー」 10:00~
- ★太鼓クラブ MOMO 13:00~
- ★方南エイサー むるち組 13:40~

展示室 ★こども作品展 (近隣保育園・幼稚園・児童館)

- ★杉並区交流都市物産市
ミニラーメン、うどん、味噌おでんもあるよ!
- ★模擬店
パン・やきそば・わたあめ・肉まん
- ★こどもバザール
こどもによる仕入れから販売
- ★パフォーマンス(アニマル風船)
- ★アリスに大変身
巨大絵本の中で記念撮影!
- ★おもちゃの病院
- ★親子で作ろう!粘土細工(工芸室)
- ★消防・警察署コーナー
- ★バターゴルフ・スリッパとばし(体育室)
- ★クイックマッサージ...など

臨時総会のご案内

高円寺地域区民センター協議会の平成22年度臨時総会を左記のとおり開催します。地域の多くの皆様のご出席をお願いいたします。

〔日時〕 平成22年10月19日(火)午前10時~

〔場所〕 セシオン杉並 2階 視聴覚室

〔議題〕 新委員の承認について

高円寺地域区民センター協議会
会長 大久保 貢祐

記

きた!きた!高円寺まつり 作品展示 出演 グループ募集!!

開催日時
平成22年11月27日(土)
午前10時~午後3時

場所
高円寺北区民集会所
杉並区高円寺北3-25-9

募集内容

・パネル(360cm×90cm)5組
・机(180cm×135cm)4組
・出演グループ5組

申込みは:

①グループ名、代表者名、連絡先
(※日中連絡できる電話番号)

②展示作品・演目内容

③展示場所・パネル机
*いつれか一つを明記

④締切 平成22年10月12日(土)必着

⑤往復はがきにてご応募下さい

*応募多数の場合は抽選となります。

応募・問合せ先

〒166-0011
杉並区梅里1-22-32
高円寺地域区民センター協議会
TEL03(3317)6614

秋の一日、僧侶のご案内と法話を中心に
妙法寺参詣への道を歩いてみませんか

日時 平成22年11月2日(火)

午後12時15分~4時30分
終了予定

集合場所 高円寺地域区民センター
(セシオン杉並)
3階第6・7集会室

対象 区内在住・在勤の方

定員 25名(応募者多数の場合は抽選)

参加費 300円(傷害保険料含)

講師 杉並区文化財保護ボランティア
石村 正臣 小杉 彰次

応募方法 往復はがきに、講座名住所・氏名
・年齢・電話番号を明記の上、お申
し込みください(2名連記可)

応募切 平成22年10月21日(木)必着

問合せ先 高円寺地域区民センター協議会
電話 3317-6614

志茂田 景樹 講演会 文化部講演会

『中高年からの夫の生き方・妻の生き方』

日時 11月6日(土)午後1時30分~3時30分

場所 セシオン杉並 3階 集会室

参加 無料(定員100名)

応募方法 往復はがきに講演会名・住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、お申し込み下さい。(2名連記可)
応募切 10月28日(木)必着

<お申し込み・お問い合わせ>
高円寺地域区民センター協議会 事務局 〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 TEL:03-3317-6614



体育部協働事業

『とにかく楽しいフットサル』

親子・障害者・若い人
みんなでたのしみませんか!!

日時 平成22年11月14日(日)午前10時~午後3時

場所 女子美術大学杉並キャンパス新体育館
〒166-8538 杉並区和田1-50-15

定員 60名(応募者多数の場合抽選)

参加費 無料

共催 高円寺地域区民センター協議会
杉並区障害者団体連合会
ハウンドツウースポーツクラブ
(講師)嶋崎健司他数名

後援 財団法人 杉並区スポーツ振興財団
協力 女子美術大学

応募方法

往復はがきにて講座名、住所、氏名、
年齢、電話番号をご記入の上お申込
み下さい。(2名連記可)尚、未就学児
は同伴保護者名も記入して下さい。

締切 平成22年10月20日(水) 必着



申込み及び問合せ先/高円寺地域区民センター協議会 TEL. 3317-6614

★高円寺地域区民センター(セシオン杉並) 〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 ☎3317-6611(代)

★和田区民集会所 〒166-0012 杉並区和田2-31-21 ☎5340-6272

★高円寺北区民集会所 〒166-0002 杉並区高円寺北3-25-9 ☎3330-7255

回覧																			
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

講座名	開催日・場所	費用	時間	定員・申込
シニアと保護者のための 携帯電話教室	10/2(土) 【和田小/ハッピールーム】	無料	13:30~16:00	当日 80名
初心者のための エンジェルハーブ教室	10/15・22・29(金) 【セシオン杉並/B1】	200円	13:30~15:30	往復ハガキ 20名
水中ウォーキング	10/18・25、11/1(月) 【杉十小/プール】	300円	11:00~13:00	往復ハガキ 30名
フラワーアレンジメント	11/12・19・26(金) 【セシオン杉並/3F】	3,000円	13:30~15:30	往復ハガキ 24名
協働事業 とにかく楽しいフットサル	11/14(日) 【女子美/体育館】	無料	10:00~15:00	往復ハガキ 60名

◎お申し込み・お問い合わせ / 高円寺地域区民センター協議会 事務局 杉並区梅里1-22-32 TEL:03-3317-6614
又は杉並区報をご参照ください。

●グループ紹介 その③

シユガープラム
 *会の活動状況
 ハンドベル音楽を楽しむ自主グループです。
 結成11年、現在11人のメンバーが大小4オクターブのベルを振り、その美しい音色に魅せられながら、いろいろな名曲を練習、演奏しています。
 *活動内容
 クリスマス、敬老の日、記念日などイベントのボランティア演奏をしています。最近1年では、ご依頼に合わせて、グリーンスリーブス、アベ・マリア、お江戸日本橋、千の風になっ

次号175号
11月20日
発行予定



練習風景

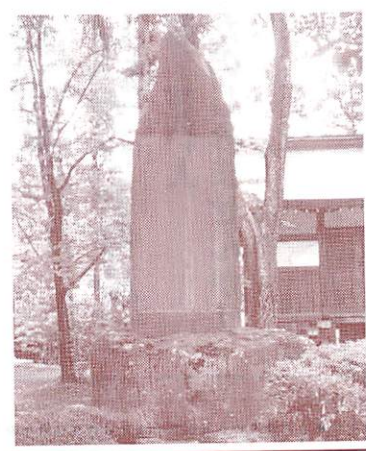
て、君をのせて、童謡など様々の曲を用意して、永福和泉地域センタークリスマスコンサート、松の木ふれあいの家、光友会杉並原爆50周年祝賀会、三鷹駅前「コミュニティセンター」秋のコンサート等で演奏をしました。
 *講師：佐藤 数穂
 *代表者：瀬戸口 邦子
 *連絡先：03(33997)5151
 *場 所：セシオン杉並、第1音楽室
 *練習日：毎週火曜日、午後1時~4時
 *会 費：5,000円

大かな燈籠と桜新道 寺田 史朗

前回は、燈籠に取りつけられた銘板と解体修理の知見から、この燈籠の来歴について見てきました。そこでは心棒と台石の構造から、この燈籠は大震災後の大正十四年に現在の場所に設置されたものと考察されていきました。
 しかし、現在の青梅街道は昭和十一年に拡幅されています。そこで、公園で調べてみると確かに昭和十年に道路の隣地が買収され、その買収された土地に燈籠が建てられていることがわかりました。つまり、設置当初から民有地に建てたことは否定できませんが、現在の姿は昭和十一年以降の可能性が高いのです。
 そして、明治二十二年(一八九九)に創刊された我が国最初のグラフィック雑誌で、江戸・明治の世相風俗を描いた風俗研究誌として知られる「風俗画報」(「東京近郊名所図会」十六輯、明治四十四年刊)には「左右に銅製の大燈籠を建つ明治三十六年之創設今既傾斜因新作之奉献焉と銘し。傍に明治四十一年十月十三日十代目彌五郎昌晴。門人製造人古澤松五郎と榜示す。」と記されています。つまり、この燈籠は明治三十六年に創建されました。

たが直ぐに傾いてきたため四十一年に作り直されたというのです。そして前回見たように、四十三年に更に作り直されたため、現在のものは三代目か四代目ということになるのでしょうか。ますます燈籠の謎は深まってきました。
 また、この燈籠が入口を示している桜新道は、中野駅から青梅街道までの新道とともに、明治二十九年に私財が投ぜられ、三十六年に完成したと一般的には云われていますが、この参道を造った関口兵蔵を顕彰した「故関口兵蔵翁開道記念碑」(高円寺南二丁目の中稲荷神社境内)の碑陰記には「乙丑四月」に青梅街道以南の道が完成したと記されています。この干支が間違っていないければこの年は慶応元年(一八六五)に該当します。桜新道も定説よりも早くから開通していたのでしょうか。
 先の「風俗画報」の文はさらに続きます。「又西畔に七字の題目を書し。」
 「明治廿三年二月十六日建之と刻したる大石標を建つ。沿道左右には桜を植たり。春時の麗景想ふべし。もと東側に寒香園といへる広き梅園と別荘ありしが今は廃絶せり(今十二叢の池畔に在る寒香園の建物は之を移したるなり)」と、蚕糸の森公園西側の小径が、かつて「桜新道」と呼ばれた来歴が記され、現在は妙法寺の入口

口に建つ「南無妙法蓮華經」という日蓮宗独特の髭文字を認めた大きな石碑が、道の西側に建っていたと記されています。つまり、中野駅から青梅街道までの道が開設される前から、この桜新道は妙法寺の参道として機能していたのです。そして、この道の東側には「寒香園」という関口兵蔵経営の広い梅園と別荘があったというのです。しかしこの梅園も廃園となり、その建物は現在都庁舎の西側、新宿中央公園のそのまた西側の十二社の池畔に移され、梅園の地は農商務省の原蚕種製造所(後の蚕糸試験場)となったのです。
 これで、大かな燈籠と桜新道のアウトラインはお分かり戴けたと思います。ところが、話はまだ続きます。先の「風俗画報」には次のような興味深い文章が続いているのです。「南行二三丁右に池あり。其の南方に佐久間象山が自ら書せし望岳賦の巨碑を建つ。」「此碑は寒香園に在りて遙かに富士山に対して立しものにて廢園後尚ほ孤立せしが。其の地買収の約成りに因り近頃こゝに移したりといふ。」と云うのです。つまり、燈籠から二三丁(二、三百m)南に佐久間象山の名作「望岳賦」(富士山を讃えて、自らの理想と抱負を寄せた韻文)の自筆巨碑が池の傍らに建っているというのです。調べてみると、大正五年発行



象山神社の望岳賦碑

の二分の一地形図には、確かに池の傍らに石碑の印が記されています。
 この碑が高円寺南五丁目で見え、現在、長野県松代町の象山神社に設置されている経緯については、森泰樹氏の「杉並区史探訪」に詳しく触れられています。当初の設置場所については、森氏も象山の研究書も中野や角筈としていますが、「風俗画報」の記す現在の蚕糸の森公園が最初の設置場所と考えられます。というのは、明治四十二年発行の二分の一地形図には、先の「南無妙法蓮華經」の石碑を示す記号とともに、「望岳賦碑」を示すと思われる記号が公園の位置に記されています。そして、「南無妙法蓮華經」の巨碑も「望岳賦」の巨碑も、ともに明治二十三年の年号を刻んでいます。
 現在ではこの場所から富士の姿を眺望することはできませんが、当時は、遙かに富士の姿を望む場所でもあったのです。